

大腸がん検診について

○大腸がん検診を受診できない方

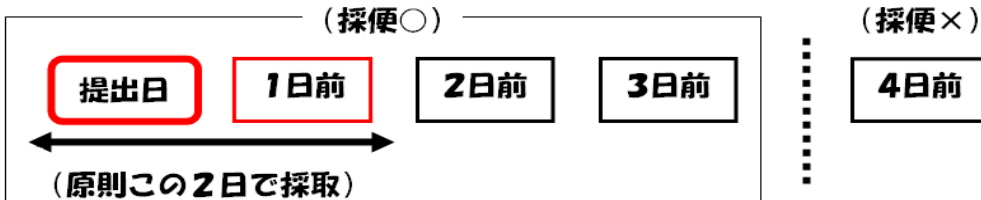
- ①腹痛や下痢便等、消化器症状のある方。〔病院（診療所）を受診してください〕
- ②痔出血のある方。〔病院（診療所）を受診してください〕
- ③生理中の方。

○大腸がん検診の受診前に必ずかかりつけ医にご相談していただきたい方

- ①大腸や胃の病気等で、現在医療機関で、治療中の方、経過観察中の方。

○大腸がん検診の受診の際の注意事項

- ①検診は2日間の便で結果を出します。そのため1日分しか提出がない場合は、正確な結果を得ることが難しくなります。必ず2日分ご提出ください。
- ②使用期限の切れた採便容器の使用は正確な検診ができませんので、今年度配布された使用期限内の容器を使用してください。（容器に使用期限が明記されています）
また他の健診機関で使用している容器では検診ができませんので（当センター配布の容器で採取してください）ご了承ください。
- ③採取した便は提出日まで冷暗所（日の当たらない、風通しのよい涼しい場所）で保管してください。
- ④採便について次の点に注意してください。
 - 1) 2日分の便を採っていただきますが、日を変えて採便してください。
 - 2) 採便していただく日は、提出日の前日と提出日当日の2日間です。便秘がちな方で前日、当日で便の採取が困難な方は、提出日3日前から当日までの4日間のうちで2日分採ってください。
（採便から日数がたちすぎると正確な結果が得られなくなるためです）



- 3) 採便容器と提出用の袋には氏名、採取日を忘れずに記入してください。
- 4) 受診票が配布されている方は、受診票にバーコードを貼ってください。また記入漏れがないようお願いします。（問診内容は結果に反映されます）
- ⑤受診票がある場合は、記入は必ずご自身でしてください。

※採便容器の提出日、体温が37.5度以上、風邪症状が持続している方はお控えください。